

当院と国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：腸管出血性大腸菌感染症に伴う脳症発症例の臨床的・画像的特徴を検討する症例集積研究

1. 研究の目的

腸管出血性大腸菌感染症は嘔吐、下痢、血便などの症状を起しますが、一部の方に菌が産生する毒素によって貧血や腎障害などをおこす溶血性尿毒症症候群という重い合併症を伴います。頻度は低いものの、溶血性尿毒症症候群に相前後して急性脳症を発症することがあり、この病態に対する最適な診療については不明な点が多く、予後が非常に悪いのが現状です。本研究では、全国から届け出られた腸管出血性大腸菌感染症に伴う脳症の患者さんの症状や検査所見、治療とその後の経過について調べます。最終的にはこの結果をまとめて、合併症を未然に防ぐ最適な方法について検討します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2011年6月1日以降2018年12月31日までに腸管出血性大腸菌感染症に併発する急性脳症と診断された患者さん。
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～ 3年間
- ③ 研究方法：上記の患者さんと協力施設の患者さんの情報(3.研究に用いる情報の種類参照)を国立成育医療研究センター(研究責任者：五十嵐 隆)に集め、解析します。頭部CT検査やMRI検査の画像データも同時に集め、画像読影チーム<(東京大学・研究責任者：森 壘)・(東京女子医科大学・研究責任者：高梨潤一)>が読影を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

患者さんの年齢、性別、症状、検査結果(頭部画像検査も含む)、治療内容、合併症の有無等
※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター
東京大学大学院医学系研究科
東京女子医科大学八千代医療センター
大阪市立総合医療センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年2月29日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

医療機関名： 大阪市立総合医療センター 小児神経内科

担当者名： 九鬼一郎（くきいちろう）

住所： 大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話： 06-6929-1221

研究責任者 国立成育医療研究センター 五十嵐 隆

研究事務局 国立成育医療研究センター 感染症科 宮入 烈

住所： 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話： 03-3416-0181（内線：7764）